www.nmp.co.jp

BRAND BOOK

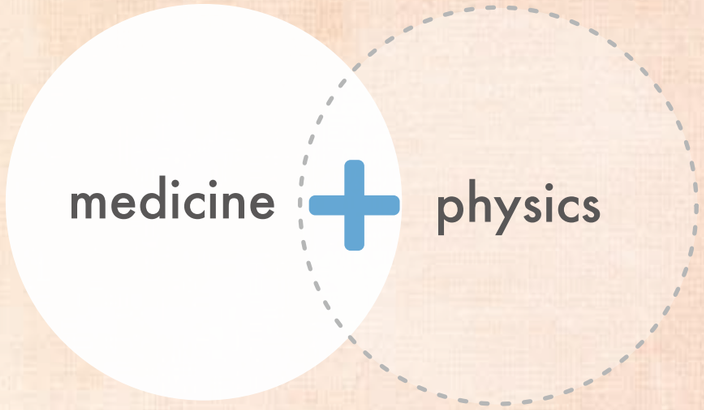
日本メジフィジックス株式会社
〔本社〕
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
TEL 03-5634-7006（代）
URL http://www.nmp.co.jp/

nmp 検索

nihon medi+physics

2014.4

社名が示すもの



社名を構成する二つの言葉、「医学」と「物理学」

その二つの融合により生み出される「核医学」が私たちの事業分野です

核医学は放射線の特性を医療に利用する先端技術です

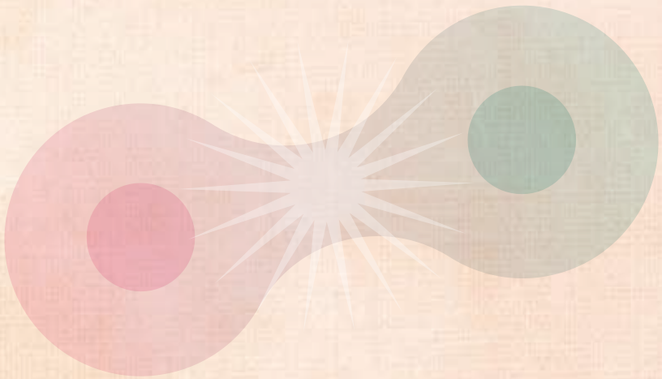
ごく微量のラジオアイソトープ（RI）を含む医薬品を画像診断に用いたり

がんを治療するために、弱い放射線を出す線源を体内に留置します

「核医学」の価値が広く認知され、私たちのお届けする製品が

一人でも多くの患者さんの笑顔につながること

それこそが私たちの願いです



事業の特性

核医学診断の得意とするところは、病気の早期発見にあります

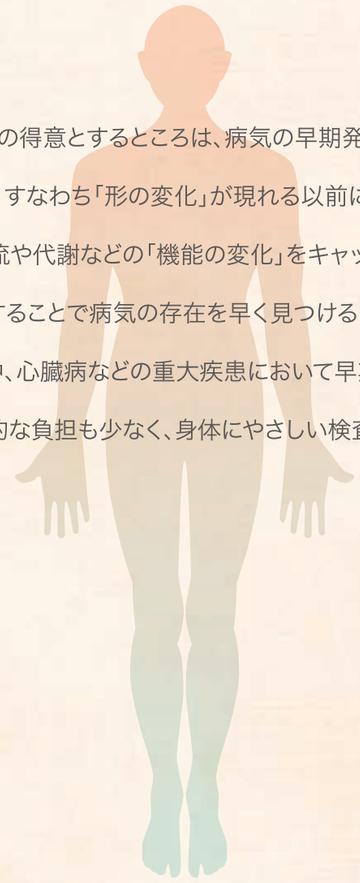
すなわち「形の変化」が現れる以前に

血流や代謝などの「機能の変化」をキャッチし

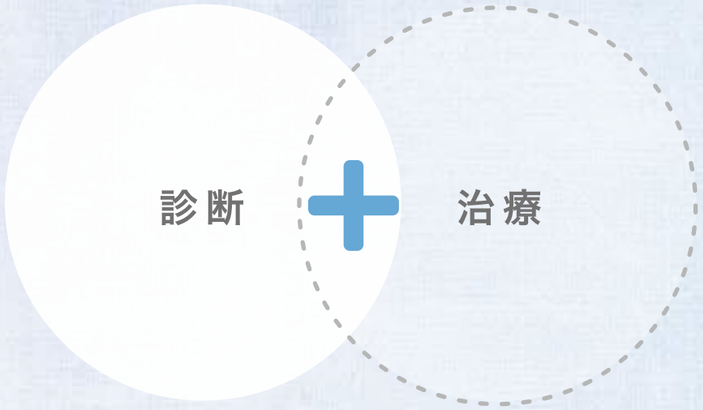
画像に反映することで病気の存在を早く見つけることができます

特にがん、脳卒中、心臓病などの重大疾患において早期発見は重要です

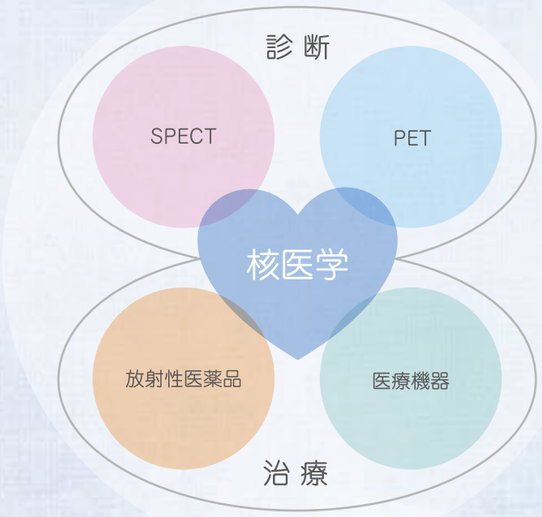
患者さんの身体的な負担も少なく、身体にやさしい検査法とされています



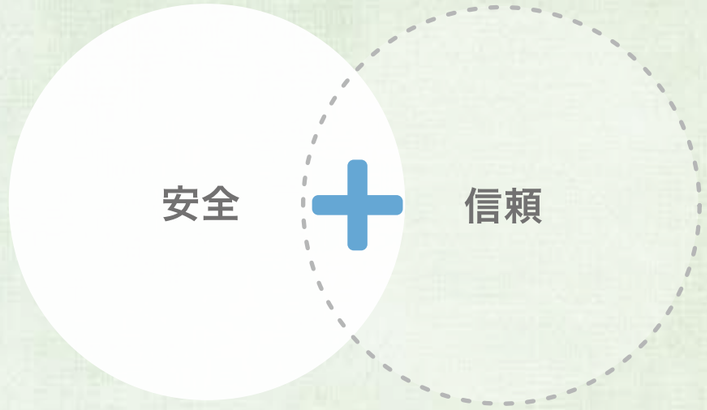
事業の分野



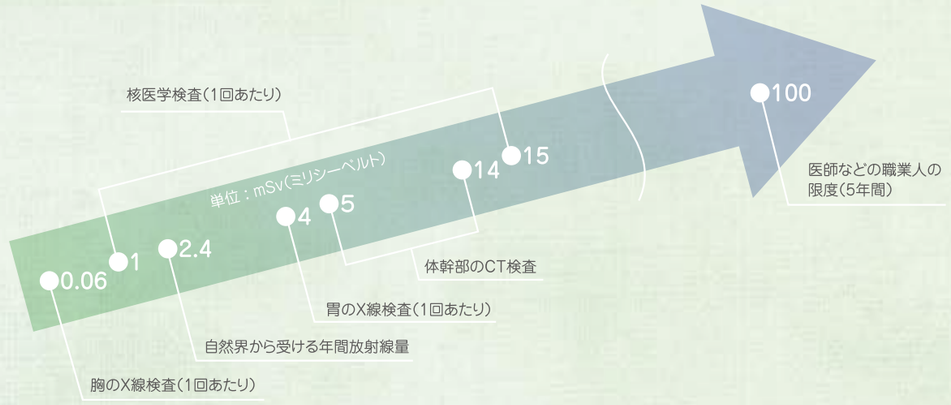
核医学診断の分野で培った豊富な知識と経験をベースに
放射線を使った新しい治療技術や製品の開発にも挑戦しています
前立腺がんの小線源療法に使用するシード線源と呼ばれる医療機器や
がんの骨転移による痛みを緩和する放射性医薬品
これからも「診断」と「治療」の両面において
核医学の価値を提供することで
人々の健康に貢献することを目指していきます



社会的存在として



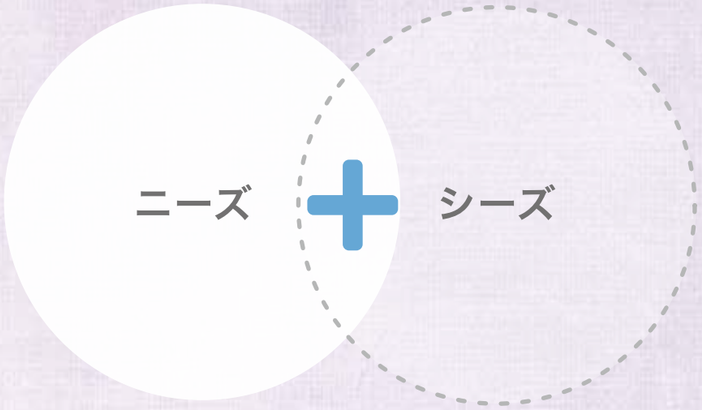
核医学診断で使用される放射性医薬品は
半減期（放射能の量が半分になる時間）が極めて短い特徴があります
このため人体への放射線の影響は非常に少なく、安全性の高い技術とされています
私たちは放射性医薬品を医療現場に供給する担い手として
製造過程における徹底した放射線管理はもとより
安全をすべてに優先させ、事業活動を行うことで
広く社会に信頼される存在を志しています



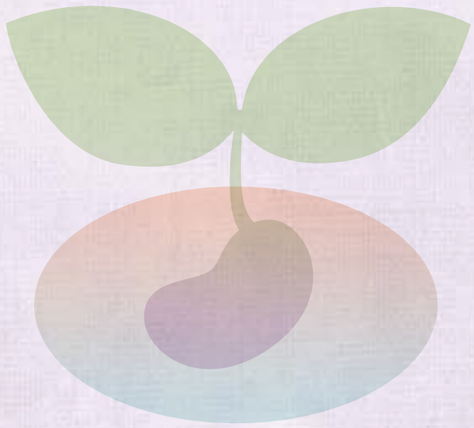
核医学検査における放射線の影響

※数値は（社）日本アイソトープ協会「核医学検査Q&A」から出典

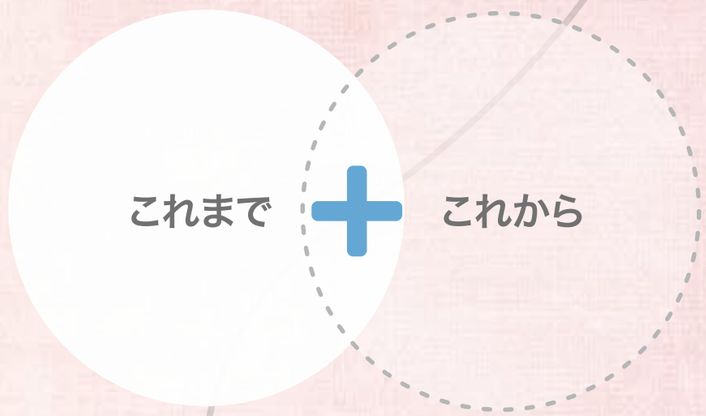
イノベーションマインド



10〜15年先のニーズ予測が必要となる医薬品の開発
将来の医療の動向を見定めつつ
ニーズを満たす技術の種（シーズ）探しが求められます
核医学診断で蓄積したノウハウを生かして
たとえば分子のレベルで生体内の情報を画像化する
分子イメージングという分野など
「私たちならでは」のイノベーションを目指して
いまだ満たされていない医療上のニーズに応えていきます



挑戦と未来



1973年、日本メジフィジックスは
当時輸入に依存していた放射性医薬品の国産化という目標を掲げて創業しました
翌年、商業用としては日本初のサイクロトロンを稼働
SPECT検査と呼ばれる核医学診断用の放射性医薬品を供給開始
2005年には日本で初めてPET検査用診断薬のデリバリー事業に進出
治療分野でも、2003年に日本で初めて前立腺がんの小線源療法の医療機器を発売しました
これまでの挑戦は、成果としていくつもの「日本初」を実現してきました
創業時のフロンティアスピリットが今も企業に息づき
日本における核医学分野の「リーディングカンパニー」として
これからも果敢に挑戦し、未来の医療課題の克服を目指します

1973 START